

経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県加賀市 加賀市医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透訓	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
67,993	26,629	非該当	7：1	

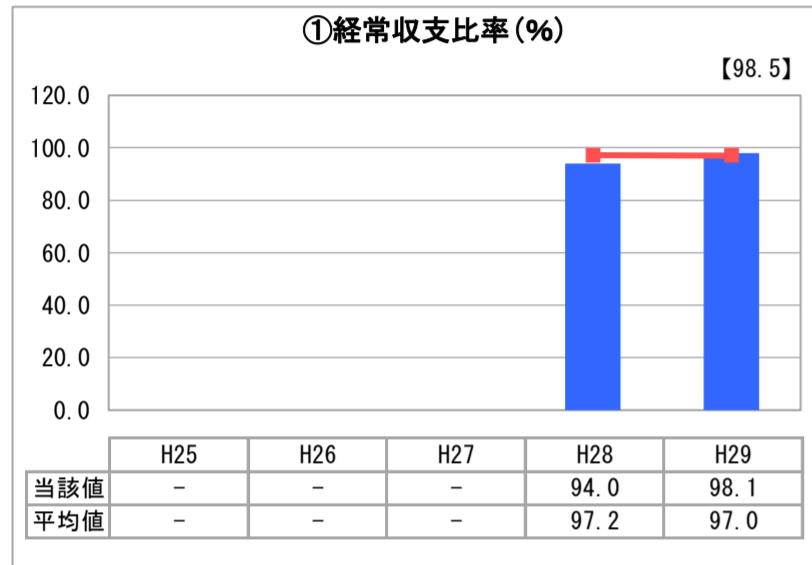
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

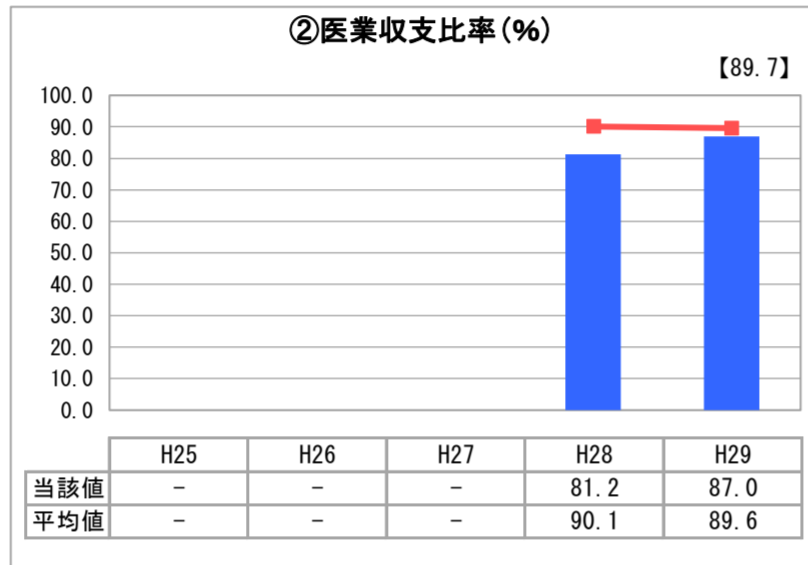
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

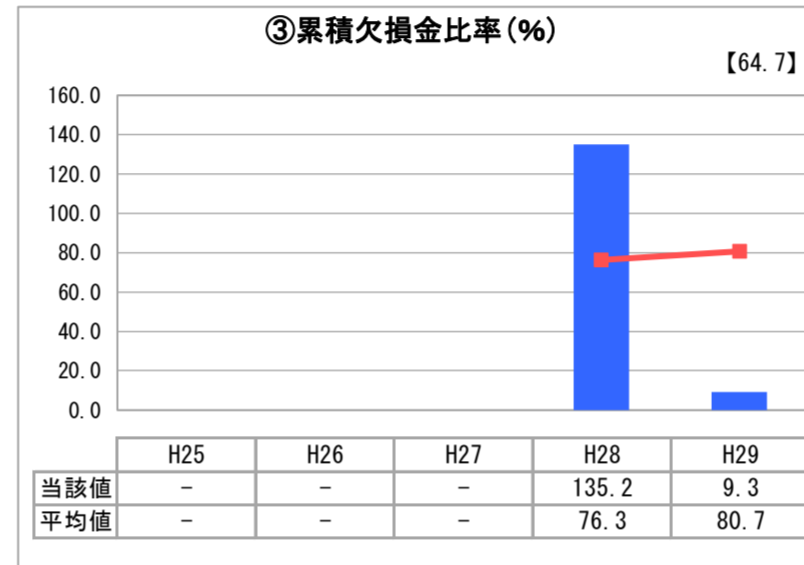
1. 経営の健全性・効率性



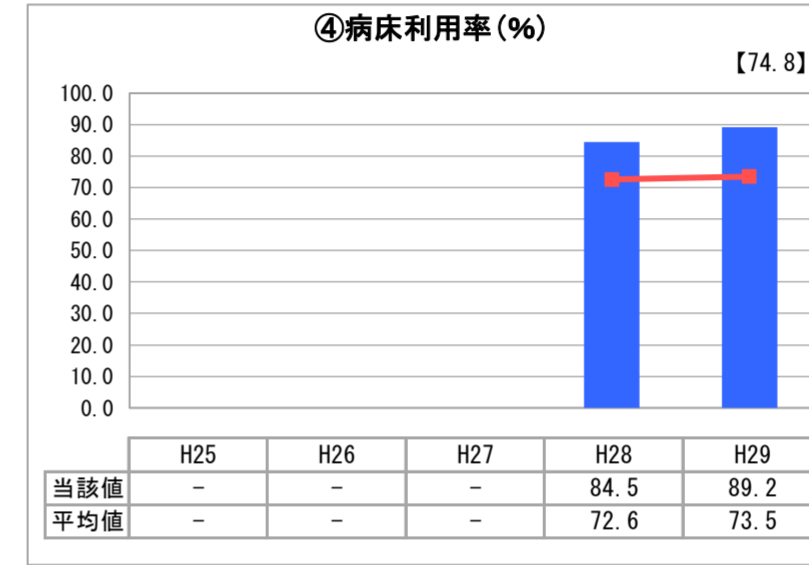
「経常損益」



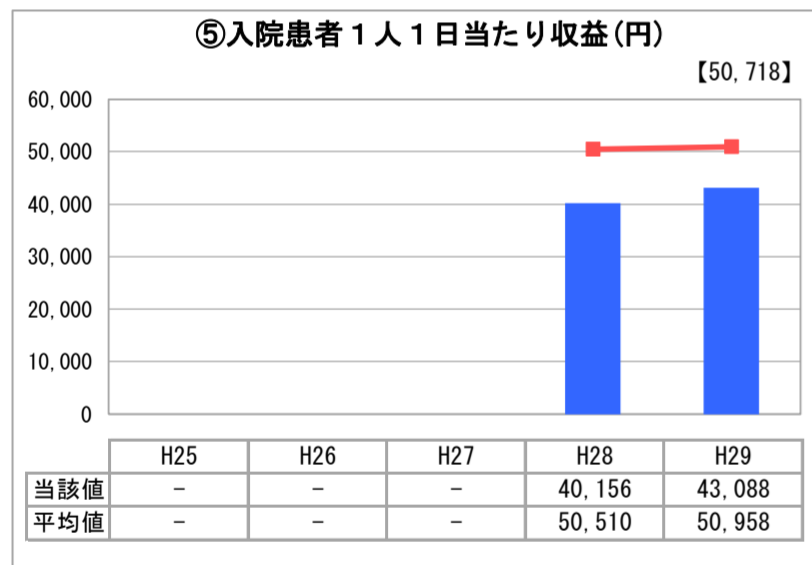
「医業損益」



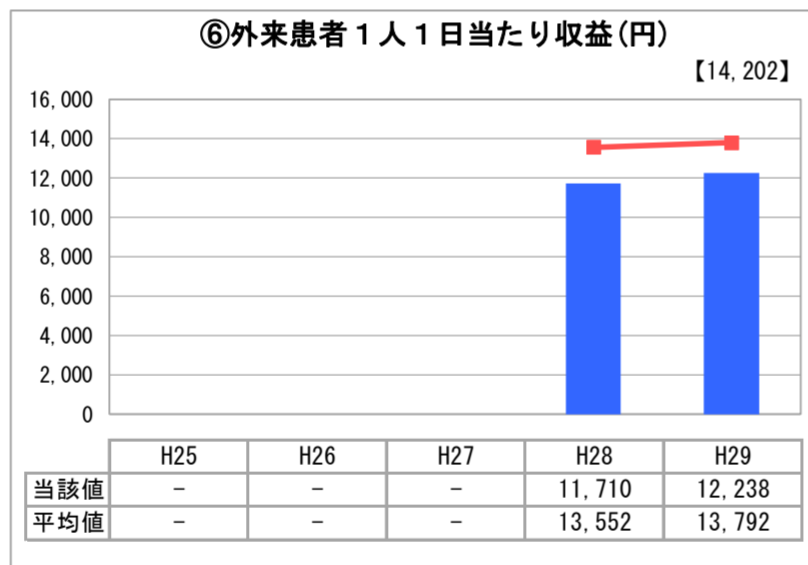
「累積欠損」



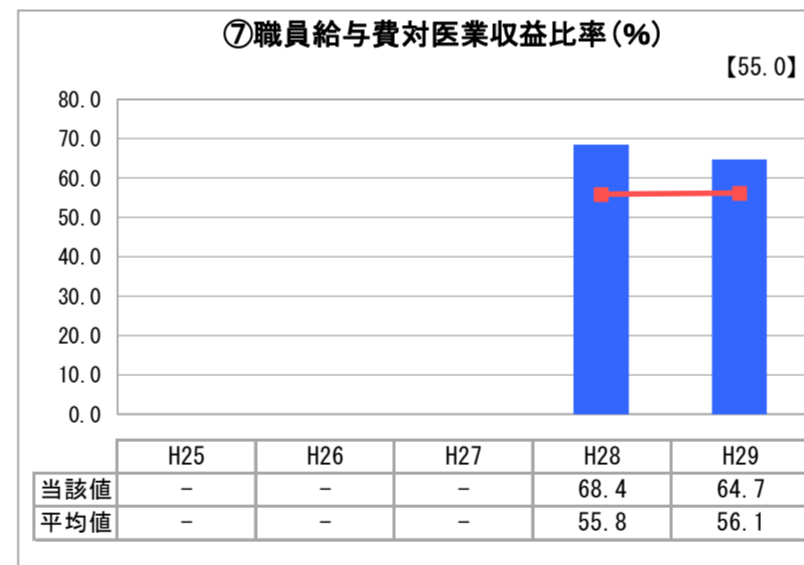
「施設の効率性」



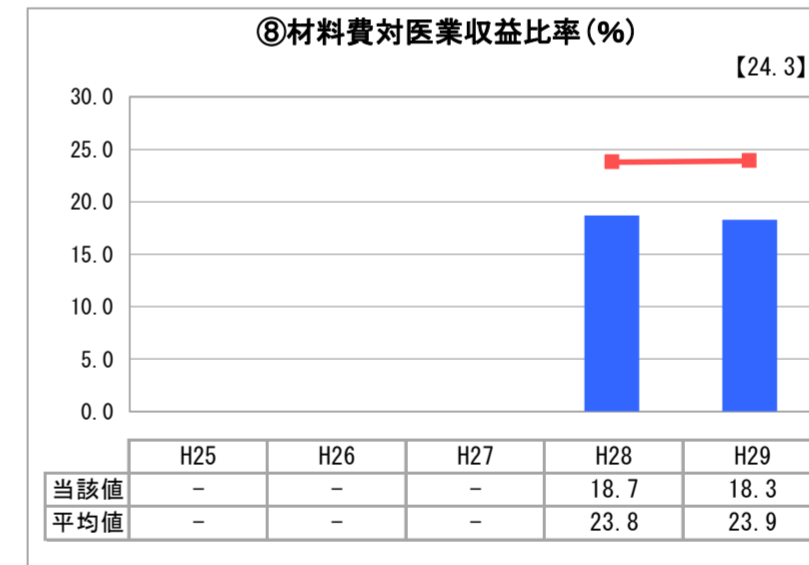
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

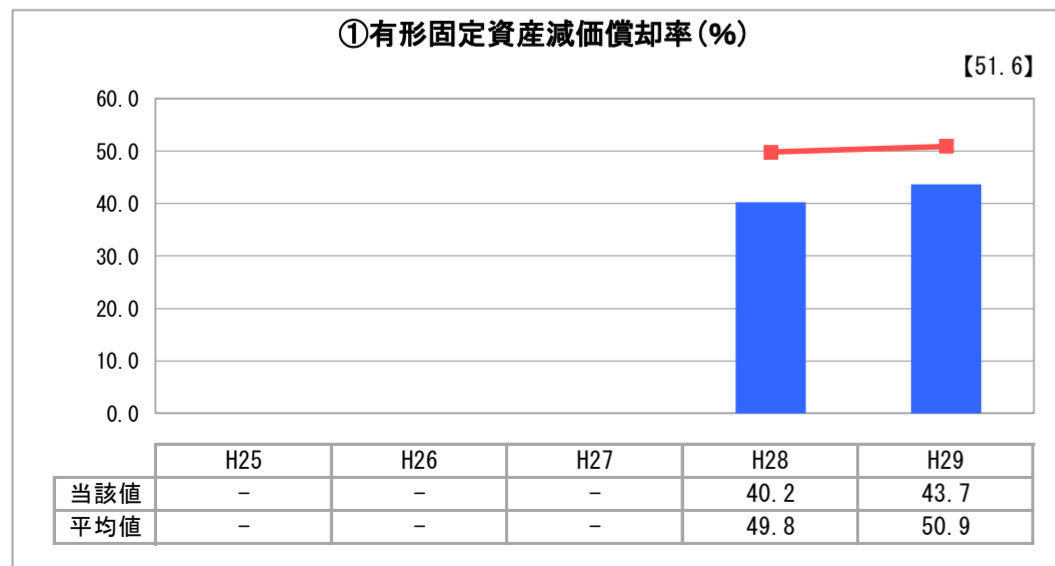


「費用の効率性①」

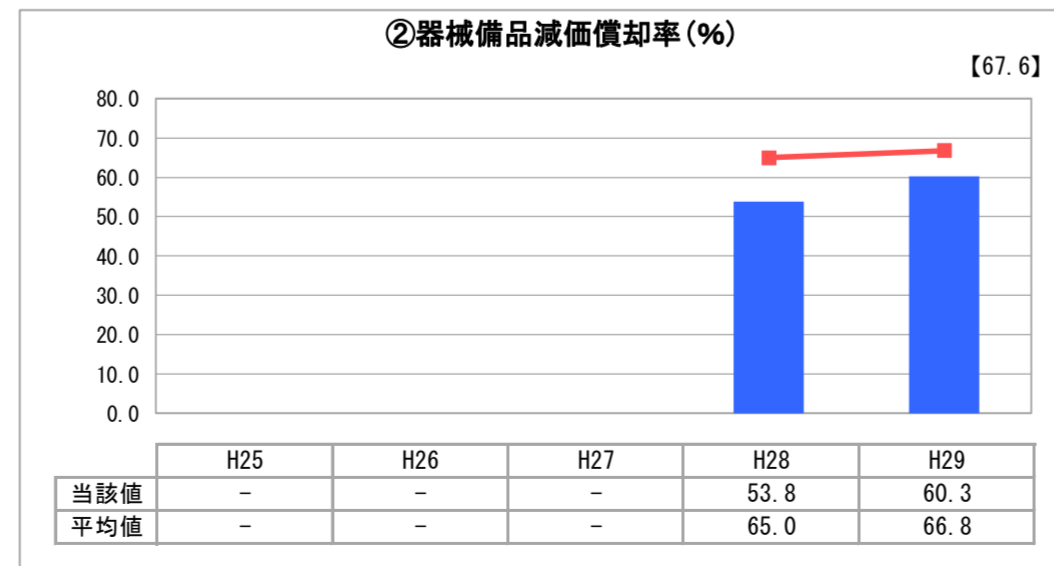


「費用の効率性②」

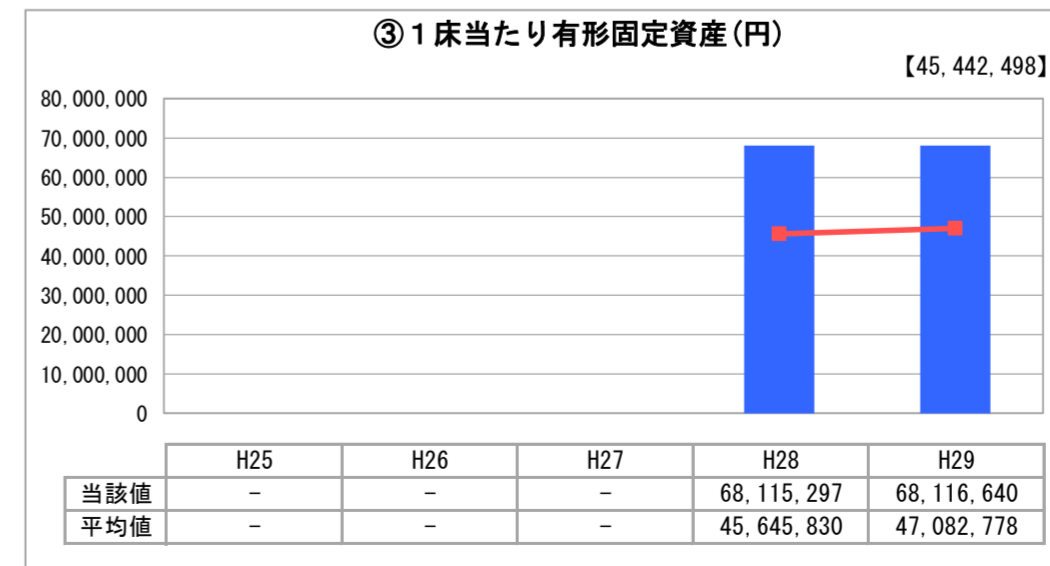
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

- ・市内唯一の急性期病院として救急搬送を断らない体制の維持・継続
- ・医療従事者育成環境の充実
- ・周産期の受入促進（市内唯一の分娩施設）
- ・地域包括ケアシステム構築に寄与する在宅復帰支援の充実と地域連携の推進（地域連携センターつむぎ、訪問看護ステーションりんく）
- ・がん治療体制の充実
- ・認知症高齢者の増加に向け行政と連携した活動の促進

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

人口が減少傾向にある加賀市において、現状の④病床利用率を維持しつつ、類似病院平均値を下回っている⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益の向上を図ることで、医業収益を改善させる必要がある。

また、⑦職員給与費対医業収益比率は改善傾向にあるものの平均値よりも高く、職員配置に相応した医業収益を得られていないのが現状である。

上記より、②医業収支比率の向上、ひいては①経常収支比率の向上にむけて、収益の効率性が課題である。

③累積欠損金比率に関しては、平成29年度に自己資本を取り崩して累積欠損金を解消したため、帳簿上平均値を大きく下回る結果となった。

2. 老朽化の状況について

平成28年4月に2つの病院を統合し、移転、新築開院したため、①有形固定資産減価償却率及び②器械備品減価償却率が平均値を下回っている。

また、旧2病院分の資産を有しているため、③1床当たり有形固定資産が平均値を上回っているが、将来的な減価償却費の増大につながるため、長期的な投資計画に基づいて適切に更新を図る必要がある。

全体総括

当院の経営状況は、各指標とも改善傾向にあり、平成28年度に策定した「加賀市医療センター改革プラン」の計画値を上回っている。今後もプランに基づいて経営の健全化・効率化に向けて努力していく。

老朽化に関して、現時点の減価償却費としては顕在化していないが、将来的な費用増大が懸念されるので、計画に基づき適切な投資を行っていく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。